

中学部 国語科 「思いよとどけ」 ～相手に分かりやすくつたえるためには～



- ・自分の思いを相手に伝えるのが苦手。
- ・相手に伝わらないと途中で諦めることがある。
- ・友だちに話したいという気持ちは強い。



- ・相手に伝わる言葉を選んでほしい！
- ・相手に分かってもらえる経験をしてほしい！
- ・順序だてて話せるようになってほしい！

①「3ヒントクイズを考えよう」

友だちに正解してもらうために3つの言葉を厳選しました。
・ただ思いついた言葉3つを選ぶのではなく、より分かりやすいと思う言葉を厳選しました。



子どもの反応

絵の具がお題だから、美術でつかう・いろんな色がある・絵を描くときにつかう・・・でもこれだと色鉛筆にまちがわれるかも！混ぜると色が変わるにしよう！

おすすめポイント

- ・厳選することに重点を置くことで、目の前にいる相手を意識した言葉選びができました。
- ・ゲーム形式のため、誰もが楽しんで考えることができました。

②「指示書をつくろう」

写真を見て、相手が再現できるように「分かりやすい指示書」をつくりました。
・「まず」や「つぎに」などの接続詞を使うことで、相手に伝わりやすいということに気づきました。

写真をみせずに再現してもらうには・・・



作戦会議だ！！ 指示書をつくろう！！

①まず、を用意します。

②つぎに、をいれます。

③それから、をおきます。

④そうすると、完成です。

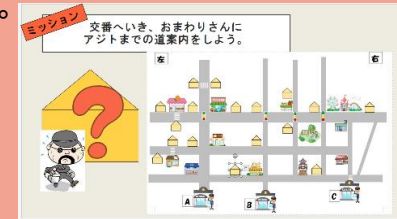


子どもの反応

「はじめに用意してほしいものを伝えた方がいいよね。」
「『ペンを横に置きます。』だと右か左か分からないな。」
「『赤いペンを紙コップの右に置きます。』にしよう！」

③「道案内をしよう」

交番からアジトまでの道案内をしました。
・大きな地図を用意し、実際にマスコットを動かしながら考えました。
・マスコットから見て左右どちらに曲がるか考えました。



子どもの反応

「マスコットがこっちを向いているから、右はこっちか。」
「この道順の方が説明が少なくてすむかも。でも曲がり角に目印がないな。」

おすすめポイント

- ・マスコットを動かしながら道順を考えることで、左右を確かめることができました。